

# 千秀だより

横浜市立千秀小学校令和4年（2022）1月7日

## 1月号

URL : [www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/](http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/)



## 新年に

校長 富田 操

新しい年が始まりました。今年もよろしくお願ひいたします。  
思えば、2020年の3月に突然の休校になってから、すでに2年が経とうとしています。このような状態が2年続くとは正直、思ってもいませんでした。そして、また状況が変わっていきそうな気配もあります。

しかし、毎日が続いていきます。2年経ったことで心の緊張を失いそうになったり、きちんと一つひとつ大事に考えていくことを忘れてしまいそうになったりしますが、緊張感を失わず、この状況をしっかり見つめて、できることは何か、やるべきことは何か、を考え続けていきます。それでも、常に最適な判断ができるわけではないこともこの2年間で学びました。時に、間違った判断をすることがあることも学びました。

そうした時、学校を支えてくれるのは、地域の方、保護者の皆様、そして何より子どもたちだ、ということも学びました。

つまり、「今までと何も変わらない」ということなのだ、ということも学んだ2年間でもありました。

これからも、千秀小学校が今まで大事にしてきたことを、さらに大切にして子どもたちを育てていきたい、そう思っています。

どうぞ、今年も、今までと変わらぬご支援を千秀小学校にいただければ幸いです。

子どものころ、よく意味がわからないなりに、年の初めは、やはりあらたまった気持ちになったものです。私たちが子どものころは、今より華やかな出来事が少なかったからでしょうか、ことさら、新年を迎える町の様子の変化や、大人たちの正装が眩しく感じられました。

その特別な雰囲気の中、子ども心に「今年がんばろう！」という引き締まった気持ちになっていたことを、今でも覚えています。

今の子どもたちも、多少の変化はあれ、同じようにあらたまった気持ちではないのでしょうか。子どもたちには、毎年、「人は、いつでも何度でも新しい自分になるチャンスがある」と伝えていきます。そのチャンスは、自分でつかみ取るものですが、この「新年の始まり」のような外的な要因もまた一つのチャンスだと思います。

一年の始まりは私たちに新しい気持ちを与えてくれます。「三日坊主」などという言葉もありますが、それでも尚、新しく前に向かっていこうとする気持ちを、まずはもつことが何より大切なのだと考え、子どもたちを迎えようと思います。また、子どもたちにもそのような思いをもってくれるように声かけをしていきたいと思ひます。

そして、できれば年末に、少しでも自分に恥ずかしくないような一年にできれば、という思いで、今年一年、千秀小学校の子どもたちのためにまた教職員全員、全力を尽くしていく覚悟です。どうぞ今年も一年よろしくお願ひいたします。